

ステンレスタンクバキュームクリーナー

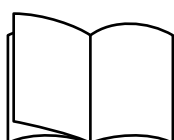
WET & DRY BLOW & VACUUM STAINLESS TANK VACUUM CLEANER

取扱説明書

この度はステンレスタンクバキュームクリーナーをお買い求めいただき、ありがとうございます。末長くご愛用いただくため、本取扱説明書をよくお読みいただき、必ず保管してください。

もくじ

●はじめに	2	●液体を吸い上げる際の注意	10
・ステンレスタンクバキューム クリーナーについて	2	・モータ音について	10
・仕様	2	・タンクに液体が入った状態で、 本体を倒してしまった場合	10
●安全上のご注意	3	・ご使用中に排気口から液体が溢れ出した (オーバーフローした) 場合	10
・警告	3	・排水について	10
・注意	4	●別売品について	11
●各部の名称	6	●故障かな?と思ったら	12
・主要各部の名称	6	●保守と点検	13
・主要各部の名称と機能	6	・乾湿両用微粒子フィルタの交換	13
・付属品の名称	7	・本体・ヘッドのお手入れ	14
・付属品の名称と機能	7	・ダストバッグ・乾湿両用微粒子フィルタの お手入れ	14
●ご使用前に	8	・フィルタの交換時期について	15
・本体の組み立て	8	・液体の排水について	15
・ホース・ノズルの取り付け	8		
●使用方法	9		
・スパイラルホースの 吸込力調節スライダについて	9		
・バキューム機能使用方法	9		
・ブロワ機能使用方法	9		



◎お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

発売元 **株式会社パオック**

外観、仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

はじめに
P2
〜
P5

各部の名称
P6
〜
P7

ご使用前に
P8

使用方法
P9
〜
P10

別売品に
ついて
P11

故障かな?
と思ったら?
P12

保守と点検
P13
〜
P15

はじめに

■ステンレスバキュームクリーナーについて

- ◆一台でバキューム機能とブロワ機能が使用できます。
- ◆乾湿両方の用途で使用できます。
- ◆微粒子フィルタにより、微粉じんにも対応できます。

■仕 様

型 式	NVC-20PA
モ ー タ	整流子電動機
定 格 電 圧	AC100V
定 格 周 波 数	50/60Hz
定 格 消 費 電 力	約1,100W
定 格 時 間	30分
吸 込 仕 事 率	約210W
風 量	約1.9m ³ /min
騒 音	≦約83dB
電 源 コ ー ド 長 さ	約4m
本 体 質 量	約5.3kg
タ ン ク 容 量	約20L (最大集じん容積約14L)
真 空 度	約19kPa
付 属 品	<ul style="list-style-type: none"> ・スパイラルホース (全長約1.7m) …… 1 ・延長パイプ …… 2 ・ダストバッグ (本体取付済) …… 1 ・乾湿両用微粒子フィルタ (本体取付済) …… 1 ・微粒子フィルタ固定キャップ (乾湿両用微粒子フィルタ取付済) …… 1 ・ドライノズル …… 1 ・ウェットノズル …… 1 ・ツル口ノズル …… 1 ・ブラシノズルセット …… 1

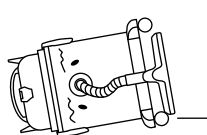

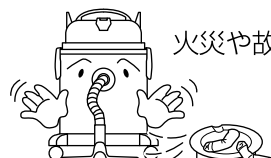
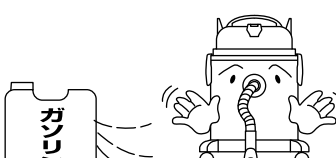

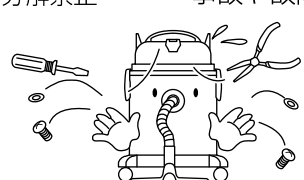
※ドライノズル、ウェットノズル、ツル口ノズル、ブラシノズルセットはタンクの中に入っています。
最初に付属品を取り出してください。

※品質改良のため、外観・仕様など一部変わることがあります。

安全上のご注意

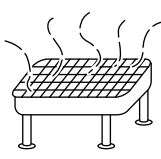
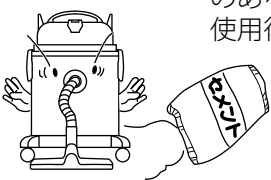
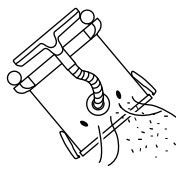
安全作業上、事故を未然に防ぐため、次の注意事項をよくお読みの上、指示に従ってください。
本取扱説明書の注意事項は、「△警告」、「△注意」に区分されています。

- △ 警告** この表示は取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
- △ 注意** この表示は取り扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合、および物的損害の発生が想定される内容を表しています。
なお、△注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載しておりますので必ず遵守してください。


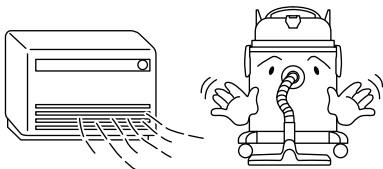




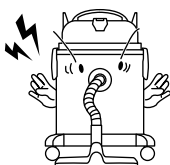



△ 警告	
<p>!</p> <p>強制</p> <p>転倒</p> 	<p>使用中に転倒した場合は、差し込みプラグを抜き、すぐに起こし、電源を切ってください。</p> <p>故障の原因となります。</p> <p>※詳しい手順はP10を参照してください。</p>
<p>!</p> <p>強制</p>  <p>ダメ!</p>	<p>お子様の手の届かない所に保管してください。</p> <p>けがの原因となります。</p>
<p>⊘</p> <p>禁止</p> 	<p>引火性のもの、燃えかす、煙草の吸い殻、また刃物など鋭利なものは危険ですから吸わせないでください。</p> <p>火災や故障の原因となります。</p>
<p>⊘</p> <p>禁止</p> <p>ガソリン</p> 	<p>ガソリン、ガス、塗料、接着剤などは吸わせないでください。</p> <p>火災の原因となります。</p>
<p>⊘</p> <p>水場での使用禁止</p> 	<p>雨の中に放置しないでください。本体内に水が入らないようにしてください。</p> <p>感電の原因となります。</p>
<p>⊘</p> <p>分解禁止</p> 	<p>お客様ご自身で分解や修理をしないでください。</p> <p>事故や故障の原因となります。</p>

安全上のご注意

⚠ 注意

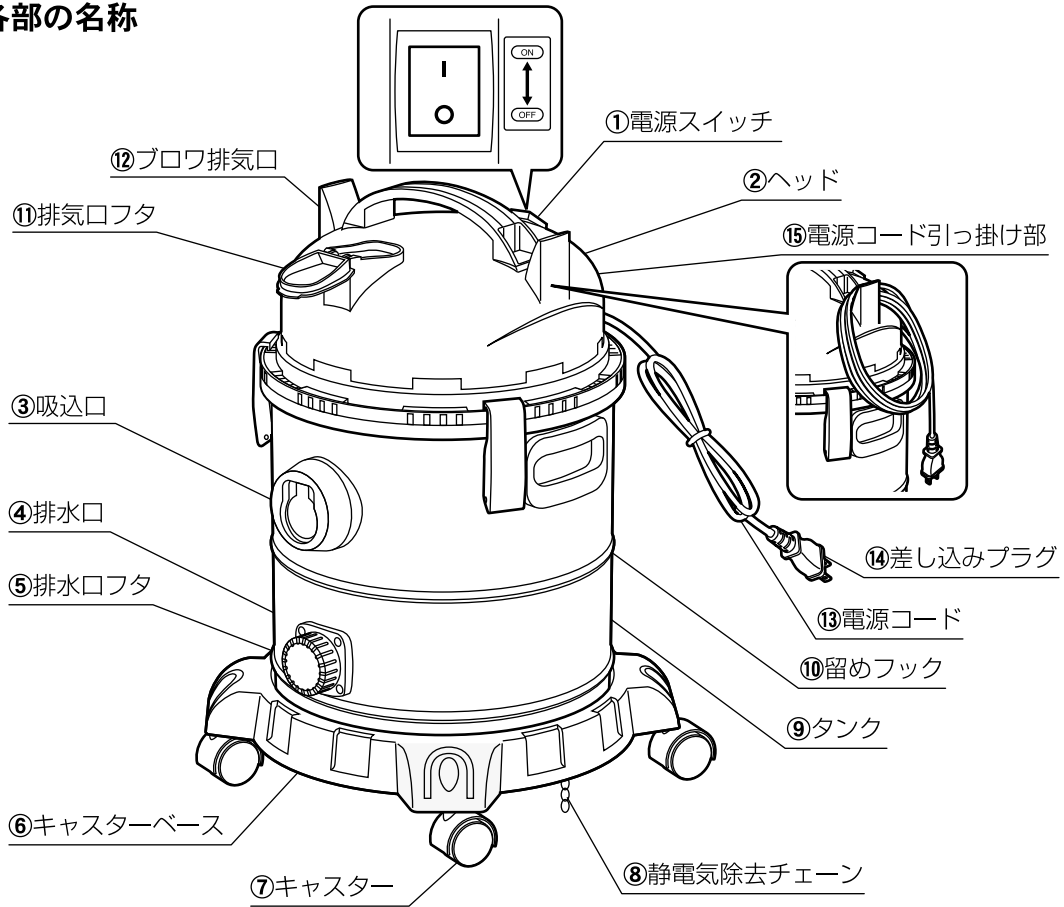
<p>! 強制</p> <p>ダストバッグ・乾湿両用微粒子フィルタの清掃は使用ごとに必ず行い、目詰まりを防いでください。</p>  <p>洗浄しても取れない目詰まりが起こった場合は、交換を行ってください。そのまま使用すると、故障の原因となりますので絶対におやめください。</p>	<p>! 強制</p> <p>ストーブやバーベキューコンロなどを掃除する時は確実に火が消えていること、完全に熱が冷めていることを確認してから行ってください。</p>  <p>故障や火災の原因となります。</p> <p>火が消えているか、熱が冷めているか確認</p>
<p>! 強制</p> <p>ダストバッグは微粉じん対応フィルタではありませんので、必ず微粒子フィルタをご使用ください。</p> <p>事故や故障の原因となります。</p> <p>※セメントのような固まる恐れのあるものを扱う時は、必ず使用後にダストバッグと微粒子フィルタを洗ってください。目詰まりの原因となります。</p> 	<p>! 強制</p> <p>吸ったゴミは使用後直ちに捨ててください。特に汚水、汚物を吸った後は、製品をよく洗って乾燥させてください。</p>  <p>放置するとカビやサビ、悪臭の原因となります。悪臭がとれない場合は、ホース、ダストバッグ、微粒子フィルタを交換してください。</p>
<p>! 強制</p> <p>乾式でご使用中に吸込力が著しく弱くなった場合、下記の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集じん容積が最大に達している。 ・ダストバッグと微粒子フィルタが目詰まりしている。 ・ホース内に異物がある。 ・ノズルが詰まっている。 <p>粉じんを捨てるか、ダストバッグと微粒子フィルタ、ホース、ノズルをきれいにし、または新しいものと交換してご使用ください。</p> <p>※ホースを外した状態で吸込口に手を当てて、吸引力が強い場合はホース、弱い場合は微粒子フィルタが目詰まりしています。</p>	<p>! 強制</p> <p>延長コードが必要な場合は、太さ1.25mm²以上のものを使用してください。</p> <p>過熱して故障の原因となります。</p>
<p>! 強制</p> <p>乾式でご使用中に吸込力が著しく弱くなった場合、下記の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集じん容積が最大に達している。 ・ダストバッグと微粒子フィルタが目詰まりしている。 ・ホース内に異物がある。 ・ノズルが詰まっている。 <p>粉じんを捨てるか、ダストバッグと微粒子フィルタ、ホース、ノズルをきれいにし、または新しいものと交換してご使用ください。</p> <p>※ホースを外した状態で吸込口に手を当てて、吸引力が強い場合はホース、弱い場合は微粒子フィルタが目詰まりしています。</p>	<p>! 強制</p> <p>お手入れをする時は中性洗剤を含ませた布で拭いてください。</p> <p>ベンジン・シンナー類は使用しないでください。</p>
<p>! 強制</p> <p>乾式でご使用中に吸込力が著しく弱くなった場合、下記の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集じん容積が最大に達している。 ・ダストバッグと微粒子フィルタが目詰まりしている。 ・ホース内に異物がある。 ・ノズルが詰まっている。 <p>粉じんを捨てるか、ダストバッグと微粒子フィルタ、ホース、ノズルをきれいにし、または新しいものと交換してご使用ください。</p> <p>※ホースを外した状態で吸込口に手を当てて、吸引力が強い場合はホース、弱い場合は微粒子フィルタが目詰まりしています。</p>	<p>! 強制</p> <p>使用後は必ず電源コードをまとめて（束ねて）ください。電源コードが汚れた場合はきれいに拭き取ってから、まとめて（束ねて）ください。</p> <p>まとめて（束ねて）おかないと、事故や断線の原因になります。</p>

⚠ 注意

<p> 高温になる場所での使用はしないでください。</p> <p>禁止 故障の原因となります。</p> 	<p> 吸込口をすべてふさいでの長時間のご使用は絶対におやめください。</p> <p>禁止 故障の原因となります。</p>
<p> 洗剤や石鹼水、泡などは吸わせないでください。</p> <p>禁止 排気口から泡などが吹き出す恐れがあります。</p> 	<p> 注意</p> <p>吸い込む空気と本体の摩擦により静電気が発生し、個人差によっては、静電気により電気ショックを受けることがありますので、ご注意ください。</p> <p>本機は静電気を逃すチェーンをキャスターベースに設けてあります。</p> 
<p> 排気口はふさがないでください。</p> <p>禁止 モータの熱が上がり過熱による故障の原因となります。</p> 	<p> 差し込みプラグを電源に差し込む時は、電源スイッチがOFFになっていることを確認してから差し込んでください。</p> <p>差し込みプラグを抜く</p> <p>また、停電の際は、電源スイッチをOFFにしてから差し込みプラグを電源から抜いてください。電源コードは、差し込みプラグを持って抜いてください。</p>

各部の名称

■主要各部の名称



■主要各部の名称と機能

	名 称	機 能
①	電源スイッチ	電源のON/OFFの操作を行います。
②	ヘッド	モータなどが組み込まれています。
③	吸込口	集じん作業の時にホースを接続します。
④	排水口	吸水した水を排水する排水口です。
⑤	排水口フタ	水を排水する時に取り外します。
⑥	キャスターベース	タンクにはめて使用します。(取付済)
⑦	キャスター	移動する時に便利です。(キャスターベースに4個取付済)
⑧	静電気除去チェーン	静電気を除去します。
⑨	タンク	容量約20L(最大集じん容積 約14L)です。
⑩	留めフック	ヘッドとタンクを確実に固定します。
⑪	排気口フタ	ブロワ排気口のフタです。
⑫	ブロワ排気口	吹き飛ばし作業の時にホースを接続します。
⑬	電源コード	電源コードです。
⑭	差し込みプラグ	差し込みプラグです。
⑮	電源コード引っ掛け部	保管時に電源コードをまとめて(束ねて)引っ掛けておくことができます。

■付属品の名称

開梱後、下記の物が揃っているかご確認ください。不足している場合は、販売店または発売元までご連絡ください。



■付属品の名称と機能

	名 称	機 能	数 量
④	スパイラルホース	集じんと吹き飛ばしの両方に使用します。	1
⑧	延長パイプ	長さが必要な時にホースに接続して使用します。	2
③	ダストバッグ	ゴミやホコリをろ過します。※微粉じんは排出される場合があります。	1
④	乾湿両用微粒子フィルタ	ダストバッグでろ過しきれなかった微粉じんに対応するフィルタです。	1
⑤	微粒子フィルタ固定キャップ	微粒子フィルタを固定します。	1
⑥	ドライノズル	ドライ専用吸込ノズルです。	1
⑦	ウェットノズル	液体または液体を含む粉じんを吸い込む時に使用します。	1
⑧	ツル口ノズル	狭い隙間などの清掃時に使用します。	1
①	ブラシノズルセット	敷居やサンなどの清掃時に使用します。ブラシ枠を外し、フラットノズルだけで衣服のゴミ取りなどに使用できます。	1

※ドライノズル、ウェットノズル、ツル口ノズル、ブラシノズルセットはタンクの中に入っています。最初に付属品を取り出してください。

※付属品は、部品として別売りもごさいます。部品別売表をご参照ください。

部品別売表 P11

ご使用前に

※各部名称・番号はP6・P7をご参照ください。

⚠ 注意

- ・ドライノズル、ウェットノズル、ツル口ノズル、ブラシノズルセットは、タンクの中に入っています。最初に付属品を取り出してください。

■本体の組み立て

イラストの順に取り付けてください。

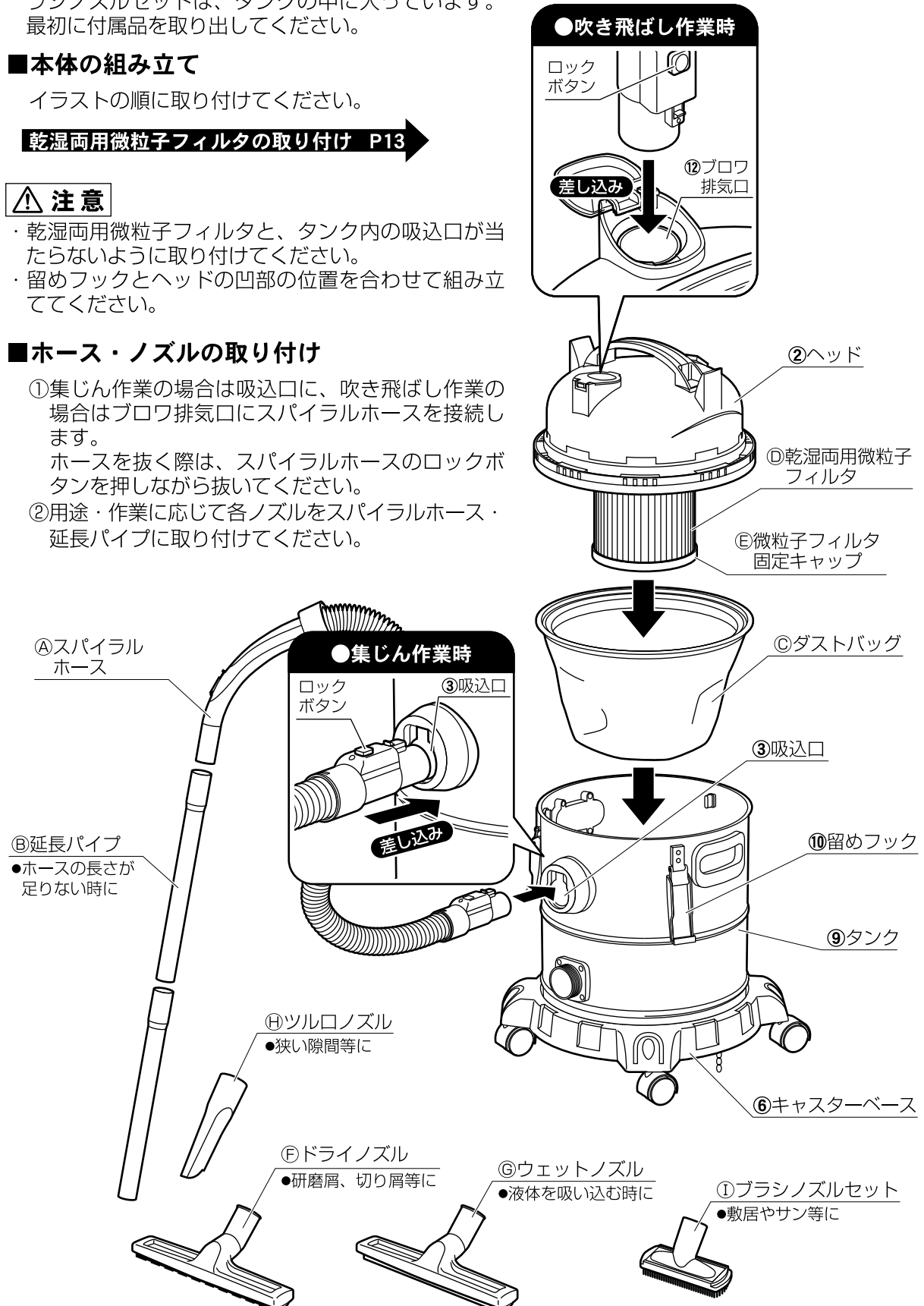
乾湿両用微粒子フィルタの取り付け P13

⚠ 注意

- ・乾湿両用微粒子フィルタと、タンク内の吸込口が当たらないように取り付けてください。
- ・留めフックとヘッドの凹部の位置を合わせて組み立ててください。

■ホース・ノズルの取り付け

- ①集じん作業の場合は吸込口に、吹き飛ばし作業の場合はブロワ排気口にスパイラルホースを接続します。
ホースを抜く際は、スパイラルホースのロックボタンを押しながら抜いてください。
- ②用途・作業に応じて各ノズルをスパイラルホース・延長パイプに取り付けてください。

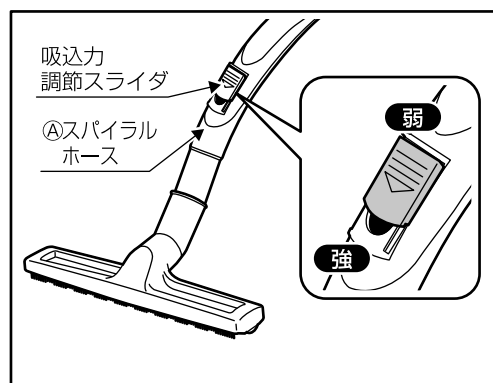


使用方法

※各部名称・番号はP6・P7をご参照ください。

■スパイラルホースの吸込力調節スライダについて

スパイラルホースには、吸い込む力を微調節できるスライダがついています。作業に応じて調節してご使用ください。



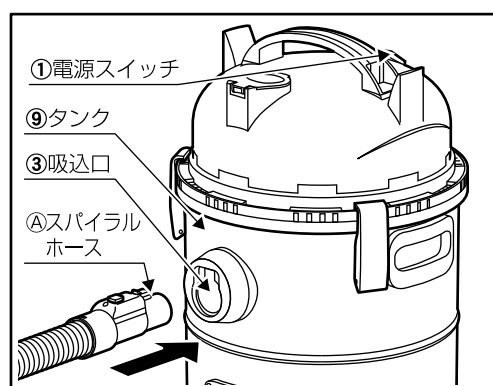
■バキューム機能使用方法

- ①電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
- ②タンクの吸込口にスパイラルホースを差し込みます。
- ③差し込みプラグを電源に差し込んでください。
- ④電源スイッチをONにすると、使用可能です。用途に応じて、延長パイプやノズルを付け替えてご使用ください。

⚠ 注意

- ・湿気などによって固まってしまう粉じん（セメント粉、チョーク粉など）を吸い込んだ場合には、特にこまめな清掃を行ってください。
- ・タンク内のゴミは、放置すると臭いやカビ、サビなどの原因となるので、使用後は直ちに捨ててください。臭いがとれない場合は、スパイラルホース、ダストバッグ、乾湿両用微粒子フィルタを交換してください。

ダストバッグ・乾湿両用微粒子フィルタのお手入れ P14・P15

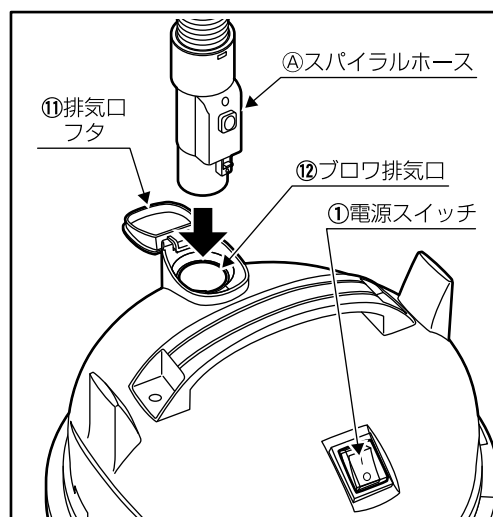


■ブロウ機能使用方法

- ①電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
- ②排気口フタを開け、ブロウ排気口にスパイラルホースを差し込みます。
- ③差し込みプラグを電源に差し込んでください。
- ④電源スイッチをONにすると、使用可能です。用途に応じて、延長パイプやノズルを付け替えてご使用ください。

⚠ 注意

- ・火気に近づけて使用しないでください。
- ・使用中は、電源コードに足や物を引っ掛けないようご注意ください。



液体を吸い上げる際の注意

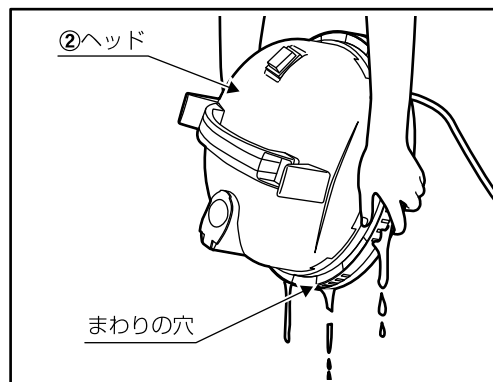
※各部名称・番号はP6・P7をご参照ください。

■モータ音について

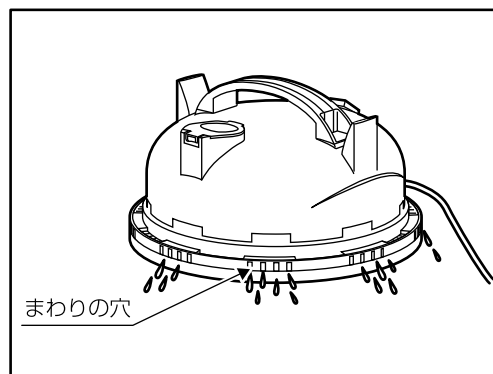
最大吸込量に達すると内部の保護装置が作動し、ホースからの吸引が強制的に止まり、モータ音が高くなります。この時はタンク容量が最大に達していますので、タンク内の液体を捨ててから作業を行ってください。

■タンクに液体が入った状態で、本体を倒してしまった場合

- ①差し込みプラグを電源から抜き、本体をすぐに起こしてください。
- ②電源スイッチをOFFにしてください。
- ③ヘッド内部に浸水している可能性があるため、ヘッドをタンクからはずし、まわりの穴から液体をだしてください。



- ④ヘッドをタンクから外した状態で、差し込みプラグを電源に差し込み、電源をONにして空運転をしてください。まわりの穴から液体が噴き出します。
- ⑤通気性のよい場所で乾燥させてください。



⚠ 注意

ご使用中に本体が転倒した場合、自動的にモータへの浸水保護がかかり吸込力がなくなります。モータの回転が止まるまで、保護は解除されません。再度ご使用になる際は電源をOFFにし、モータの回転が止まり保護が解除されたのを必ず確認してから、電源をONにしてください。

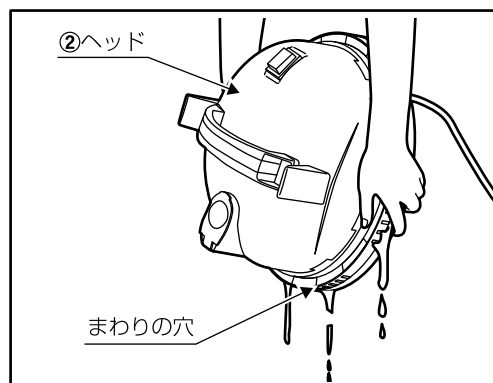
■ご使用中に排気口から液体が溢れ出した（オーバーフローした）場合

※基本的にはオーバーフローしないように設計されています。万が一、オーバーフローした場合は下記手順を行ってください。

- ①差し込みプラグを電源から抜き、電源スイッチをOFFにしてください。
- ②ヘッドをタンクから外し、まわりの穴から液体を出してください。
- ③通気性のよい場所で乾燥させてください。

⚠ 注意

乾燥するまでは、絶対に電源をONにしないでください。



■排水について

液体を吸った後は直ちに排水してください。必要に応じてダストバッグを水洗いしてください。

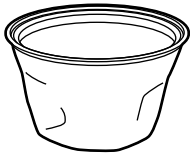
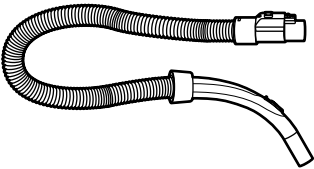
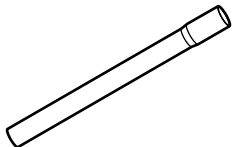
液体の排水について P15

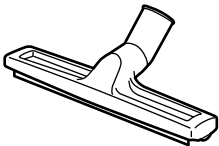
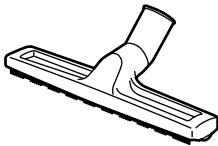
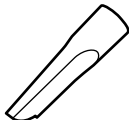

別売品について

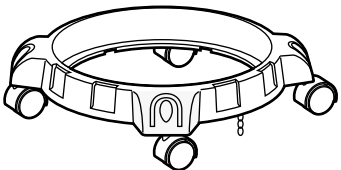
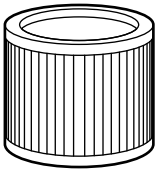

※各部名称はP6・P7をご参照ください。

下記の部品は消耗品です。

交換の際は、本機をお買い求めの販売店、または発売元までお問い合わせください。

形状			
品名	ダストバッグ	スパイラルホース	延長パイプ
品番	NVC-DB	NVC-SHPA	NVC-EPDW

形状				
品名	ウェットノズル	ドライノズル	ツルロノズル	ブラシノズルセット
品番	NVC-WNPA	NVC-DNPA	NVC-TNDW	NVC-BNPA

形状			
品名	キャスターベース	乾湿両用微粒子フィルタ	微粒子フィルタ固定キャップ
品番	NVC-CBPA	NVC-PF	NVC-PFC

故障かな？と思ったら

下記のチェックリストに沿って点検を行ってください。

症 状	原 因	解決方法
作動しない。	①差し込みプラグが電源にしっかり差し込まれていない。	①差し込みプラグを電源にしっかり差し込んでください。
	②電源スイッチがOFFになっている。	②電源スイッチをONにしてください。
吸込力が弱い。 ※吸込力が著しく弱まっている状態での連続運転はおやめください。	①ホース及び延長パイプなどがしっかり差し込まれていない。	①ホース及び延長パイプなどをしっかり差し込んでください。
	②ダストバッグ及び乾湿両用微粒子フィルタが目詰まりしている。	②ゴミや液体を取り除いてください。または洗浄してください。 P14 → 洗浄しても目詰まりが取れない場合は、交換を行ってください。 P13 → ※濡れている場合は必ず乾燥させてからご使用ください。
	③ホース内に異物がある。	③異物を取り除いてください。または新しいホースと交換してください。
	④ノズルが詰まっている。	④異物を取り除いてください。
	⑤タンク内がゴミや液体でいっぱいになっている。	⑤ゴミや液体を捨ててください。 P14,15 →
	⑥大型電動工具との同時使用により電圧降下を起こし、モータの回転速度が落ちている。	⑥十分な電力供給を確保してください。

⚠ 注意

ご使用中に本体が転倒した場合、自動的にモータへの浸水保護がかかりホースからの吸込力がなくなります。モータの回転が止まるまで、保護は解除されません。再度ご使用になる際は電源をOFFにし、モータの回転が止まり保護が解除されたのを必ず確認してから、電源をONにしてください。液体が入っている状態で本体が転倒した場合はP10を参照してください。

※これらのチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または発売元までご連絡ください。お問い合わせや、ご連絡がないまま直接発売元に修理品等を送付されても、処理・対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

保守と点検

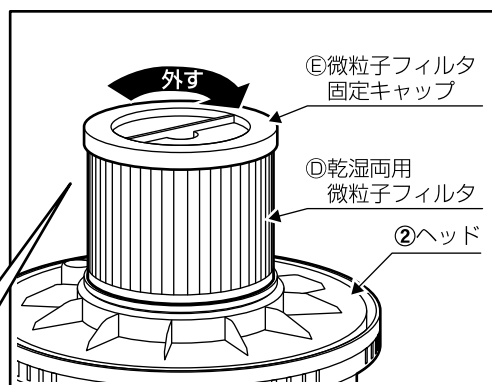
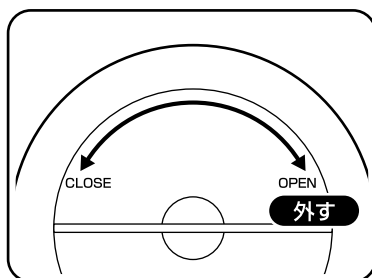
※各部名称・番号はP6・P7をご参照ください。

■ 乾湿両用微粒子フィルタの交換

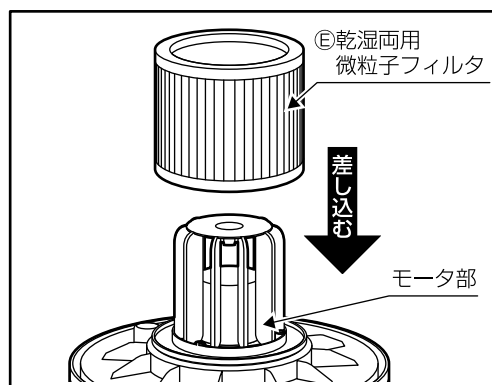
⚠ 注意

必ず電源をOFFにし、差し込みプラグを抜いてから行ってください。

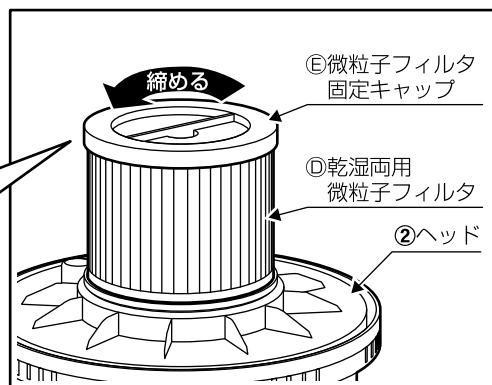
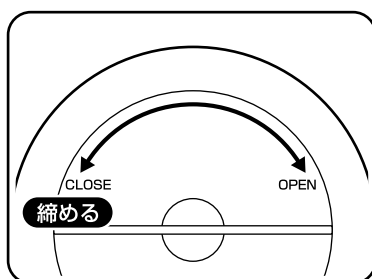
- ① ヘッドを裏返し、微粒子フィルタ固定キャップと乾湿両用微粒子フィルタを外してください。



- ② 乾湿両用微粒子フィルタをモータ部に差し込みます。



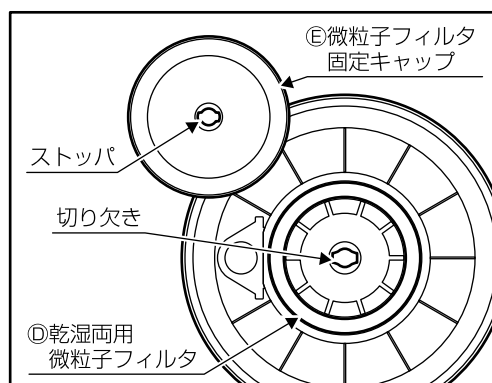
- ③ 微粒子フィルタ固定キャップを締めて、乾湿両用微粒子フィルタをしっかりと固定してください。



※ 微粒子フィルタ固定キャップのストッパとモータ部の切り欠きを合わせてから、締め付けてください。

⚠ 注意

必要以上に微粒子フィルタ固定キャップを回さないでください。ストッパと切り欠きが破損する恐れがあります。



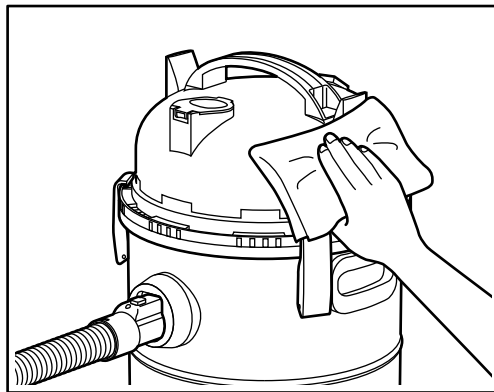
保守と点検

⚠ 警告

お手入れや点検の際は、必ず電源スイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。事故やけがの原因になります。

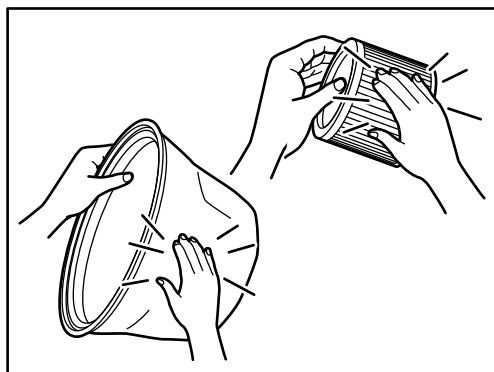
■本体・ヘッドのお手入れ

- 汚れは乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 汚れのひどい時は、水で薄めた中性洗剤少量をやわらかい布に浸してよく絞って拭き、その後乾いた布で拭き取るときれいになります。
- シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類では絶対に拭かないでください。



■ダストバッグ・乾湿両用微粒子フィルタのお手入れ

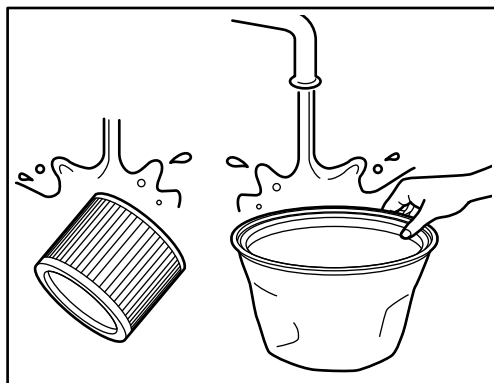
- 通常は、フィルタ面を軽くたたいて、ちりを落としてください。
- 湿気などによって固まってしまう粉じん（セメント粉、チョーク粉など）を吸い込んだ場合には、特にこまめな清掃を行ってください。
- 汚れて目詰まりがひどい場合は、以下の手順で水洗いをして乾燥させてください。



①ダストバッグ・乾湿両用微粒子フィルタを取り外してください。

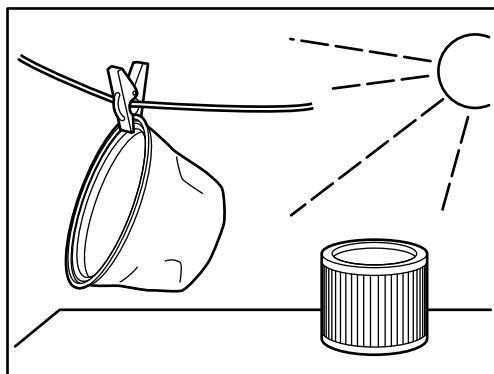
P8・P13参照 →

②たたいてゴミやちりを落とします。



③水で洗ってください。

④軽く水切りをした後、乾燥させてください。



※各部名称・番号はP6・P7をご参照ください。

⚠ 注意

- ・ダストバッグ及び、乾湿両用微粒子フィルタの清掃は、使用ごとに必ず行ってください。清掃せずに放置すると、フィルタ目詰まりを起こし故障の原因となります。
 - ・湿気などによって固まってしまう粉じん（セメント粉、チョーク粉など）を吸い込んだ場合には、特にこまめな清掃を行ってください。
 - ・洗浄しても取れない目詰まりが起こってしまった場合には、フィルタの交換を行ってください。フィルタ目詰まりが起こっている状態で使用すると、故障の原因となりますので絶対に行わないでください。
 - ・水、ド口水などの液体を吸引した場合は、使い終わったら必ずダストバッグを水洗いしてください。また、完全に乾燥させてからお使いください。
 - ・ダストバッグは、微粉じん対応フィルタではありません。セメント粉、小麦粉、チョークの粉、コピー機のトナーなどの微粉じんは吸い込めません。
- 微粉じんを吸い込む時は、必ず乾湿両用微粒子フィルタを取り付けてご使用ください。**

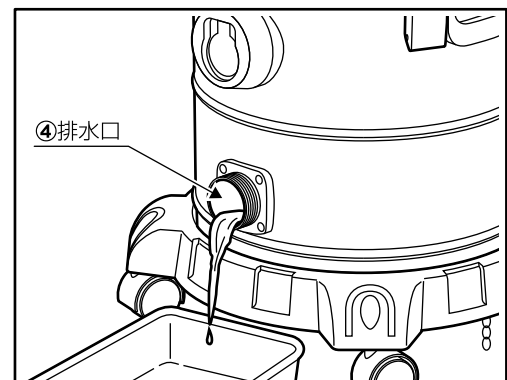
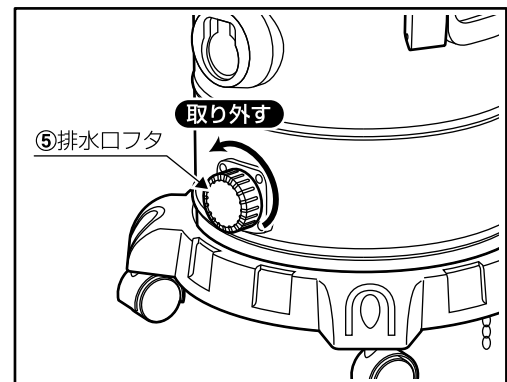
■フィルタの交換時期について

- ・ダストバッグ、乾湿両用微粒子フィルタは、糸のほつれや破れなど、破損がひどくなってきた場合は各フィルタの寿命です。新しいフィルタと交換してください。
- ・洗浄しても取れない目詰まりが起こった場合は交換を行ってください。

■液体の排水について

水などの液体を排水する際は、あらかじめ排水口から排水してください。

- ①液体を排水しても差し支えない場所に本体を移動するか、排水口の下に容器を置いてください。
- ②排水口フタを取り外すと、排水口から液体が排水されます。
- ③底に残った液体は、ヘッドを外し、本体を逆さにして排水してください。



保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な状態で使用し、故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

品名	ステンスタンクバキュームクリーナー	型式	NVC-20PA
お買い上げ日※	年 月 日	保証期間	6ヶ月
お客様※	ご住所	〒	
	ご氏名	様	
	電話番号	- () -	
販売店※	住所		
	店名		
	電話番号		

※印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは文字を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障及び損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - リサイクル業者や、使用者等による再販など、当社の責任範囲を超える場合。
 - 日本国外での使用。
- 本書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。

発売元 **株式会社パオック**

〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21

TEL:(0256)33-5574 FAX:(0256)33-5559

URL <http://www.paock.co.jp>